京香 金閣寺垣 ユニット型

取付説明書 －間仕切タイプ－

●このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。

●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、あなたや他の人々の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。

●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
警告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
注意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。
一般情報に関する記号	
ポイント	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

＜施工の前に＞

警告

● フェンスは隣地境界を目的に設置するものです。防護柵や手すり等としては使用しないでください。

注意

● 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
● 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
● 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
● 柱とパネル本体の組付けは「京香 建仁寺垣・細美垣 ユニット型 間仕切タイプ（C182）」の取付説明書と共通です。
● 梱包明細表の「取扱説明書」表記は「京香 建仁寺垣・細美垣 ユニット型 間仕切タイプ（C182）」の取付説明書をご参照ください。
● 柱の施工方法は「京香 建仁寺垣･細美垣 ユニット型 間仕切タイプ（C182）」の取付説明書をご参照ください。
● コーナーまわりの納まりは「京香 建仁寺垣・細美垣 ユニット型 間仕切タイプ（C182）」の取付説明書をご参照ください。
● 笠竹の取付けは「京香 建仁寺垣･細美垣 ユニット型 間仕切タイプ（C182）」の取付説明書をご参照ください。

＜施工上のご注意＞

注意

● 現場で金具を組付け・締結する場合は、施工後に締結具合を必ず確認してください。締結不良は風などによる破損・飛散事故の原因になります。
● ケガ防止のため、キャップは必ず取付けてください。

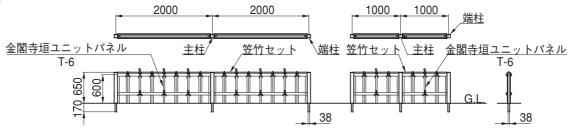
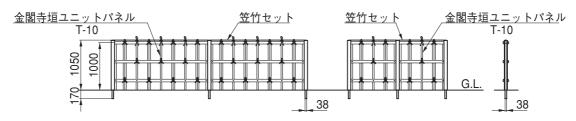
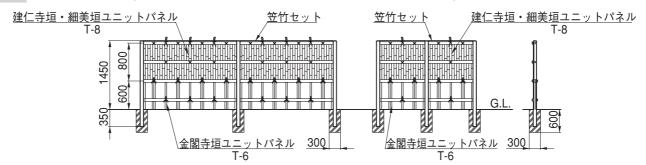
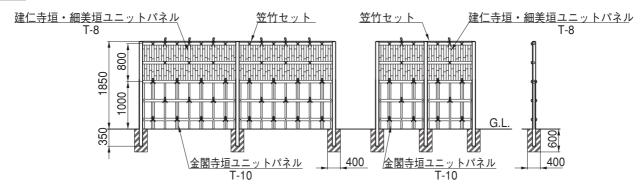
C243_200501B

■梱包明細書

1ユニットパネルセット

名　称	略　図	員数
パネル本体		1
取付説明書	ー	1

1.基本寸法および施工図

1-1 T−6サイズ

1-2 T−10サイズ

1-3 T−14サイズ(建仁寺垣・細美垣ユニットパネルとの2段施工)

1-4 T−18サイズ(建仁寺垣・細美垣ユニットパネルとの2段施工)

2.パネル本体の切詰め

2-1 パネル本体切断

切断位置

押え竹取付金具取付ネジ
（φ4×10サラタッピンネジ3種）

押え竹

パネル本体使用側　立子パイプ　※1　パネル本体切捨て側

図2-1

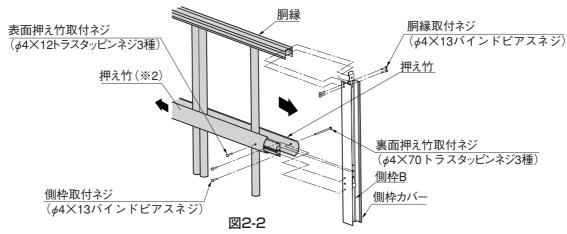
❶「押え竹取付金具取付ネジ」をはずし、押え竹を取りはずしてください。
❷パネル本体と押え竹を切断してください。

ポイント

● 本体パネルの切断位置は、立子パイプから50mm以上離さないと側枠が取付きません。（※1）

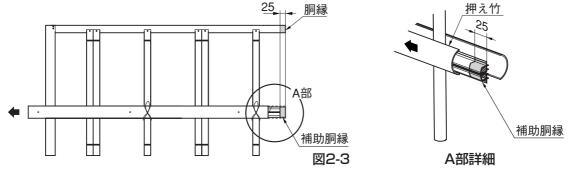
注 意

● ケガ防止のため、切断面はヤスリ等でバリ取りを行い、鋭利な角部は丸めてください。

図2-2

❸パネル本体切捨て側の「表面押え竹取付ネジ」をはずし、押え竹（※2）をずらしてください。
❹パネル本体切捨て側の「側枠取付ネジ」・「裏面押え竹取付ネジ」をはずし、側枠Bと側枠カバーを取りはずしてください。

ポイント

● 取りはずした側枠B・側枠カバー・取付ネジは再利用するため捨てないでください。

図2-3　　A部詳細

❺パネル本体使用側の胴縁、補助胴縁を25mm切断してください。（図2-3参照）

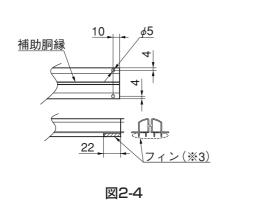
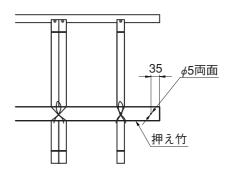
ポイント

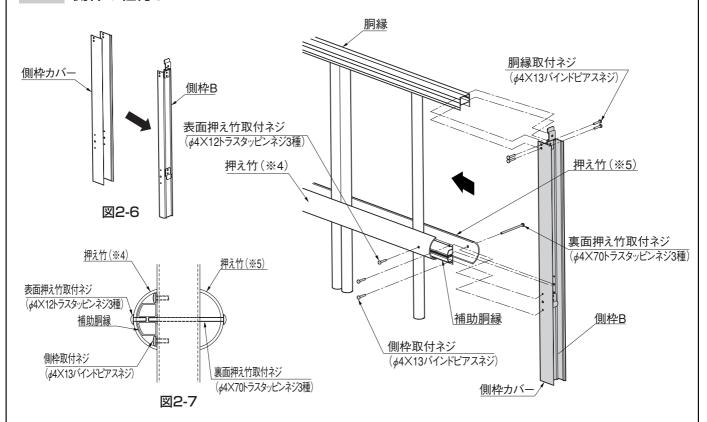
● 補助胴縁側の押え竹をずらすと加工できます。（A部）

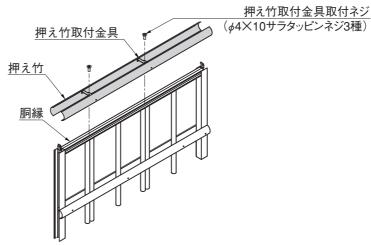
2.つづき

2-2 補助胴縁・押え竹加工

図2-4

図2-5

❶補助胴縁にφ5の孔をあけてください。（図2-4参照）
❷フィン（※3）4ヶ所を22mm切り欠いてください。（図2-4参照）
❸押え竹端部にφ5の孔を両面にあけてください。（図2-5参照）

2-3 側枠の組付け

❶側枠Bに側枠カバーをかぶせてください。（図2-6参照）
❷側枠Bを胴縁と補助胴縁に「側枠取付ネジ」で固定してください。
❸補助胴縁側の押え竹（※4）を補助胴縁に「表面押え竹取付ネジ」で取付けてください。（図2-7参照）
❹押え竹（※5）を補助胴縁に「裏面押え竹取付ネジ」で取付けてください。（図2-7参照）

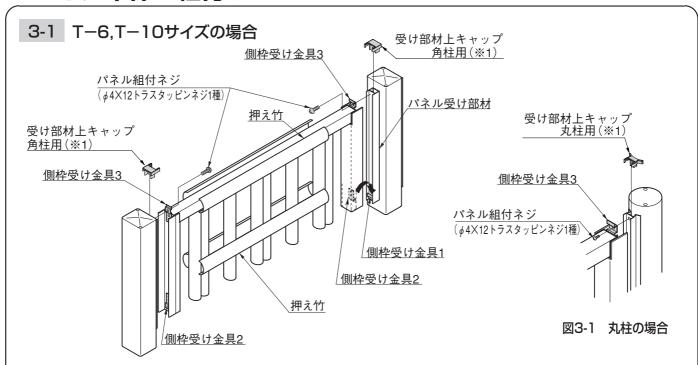
2-4 押え竹の取付け

❶押え竹を胴縁に「押え竹取付金具取付ネジ」で取付けてください。

補 足

- 現場で本体を切詰める際に切詰めた本体の両方を使用する場合には、側枠セット（別売）を使用してください。片側のみを使用する場合には必要ありません。

3.パネル本体の組付け

3-1 T−6,T−10サイズの場合

図3-1 丸柱の場合

❶側枠受け金具 2 を側枠受け金具 1 に差し込んでください。
❷パネル受け部材上端に受け部材上キャップを差込み、側枠受け金具3と共に「パネル組付ネジ」で固定してください。

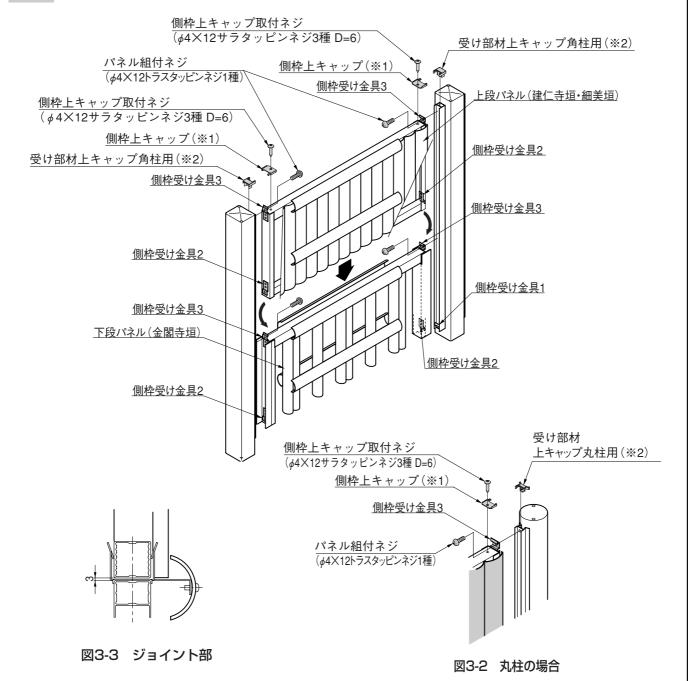
補 足

- 受け部材上キャップの梱包明細表は「建仁時垣・細美垣 ユニット 間仕切りタイプ（C182）」の取付説明書を参照してください。（※1）

3.つづき

3-2　T－14、T－18サイズの場合※T－8建仁寺垣・細美垣パネルとの組合せの場合

図3-3　ジョイント部

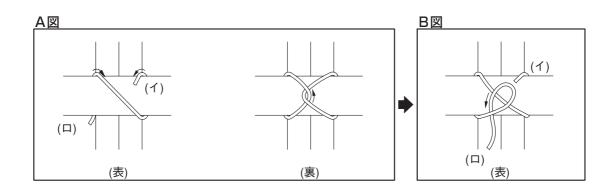
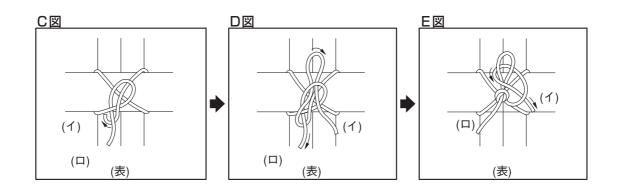
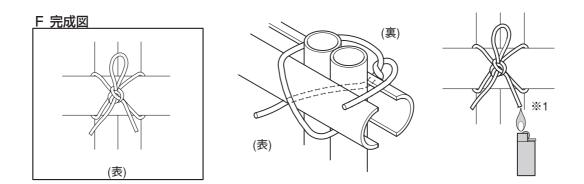
図3-2　丸柱の場合

❶下段パネル(金閣寺垣)を「3-1 T-6,T-10サイズの場合」と同様に取付けてください。

❷上段パネル(建仁寺垣・細美垣)の側枠受け金具２を金閣寺垣パネルの側枠受け金具３に差込み、上段パネル(建仁寺垣・細美垣)の側枠受け金具３をパネル受け部材にはめ込んでください。

❸パネル受け部材上端に受け部材上キャップを差込み、側枠受け金具3と共に「パネル組付ネジ」で固定してください。

補足

- 建仁寺垣・細美垣の両面仕様の場合は、側枠上キャップ（※1）を取付ける必要はありません。
- 側枠キャップ・受け部材上キャップの梱包明細書は「建仁時垣・細美垣 ユニット型 間仕切りタイプ（C182）」の取付説明書を参照してください。（※1）（※2）

4.シュロ縄のしばり方

❶ A図のように、シュロ縄を押え竹に巻き付けてください。裏側で図のように交差させてください。
❷ B図のように、(ロ)の部分で輪を作りC図のように(イ)を通してください。
❸(イ)をもう一度D図のように輪の中に通して、(ロ)を引いてください。
❹ E図のように、D図で作った輪に(イ)を巻き付けて、← 方向に引いてください。これで完成です。

ポイント

- 縄をしばった後、先端をライター等でとかしてほどけないようにしてください。
  (とかしすぎに注意してください。)(※1)